平成２７年２月２０日

インターネットバンキングご契約者様各位

インターネットバンキングにおける警察庁からのウイルス情報について

標記について、警察庁から提供を受けましたウイルスに関する情報を精査した結果、当該情報の中に個人ＩＢおよび法人ＩＢにログインする際に不正な画面を表示させ、ＩＤ、パスワード等を搾取する機能を持つウイルスがあることを確認いたしました。

つきましては、ウイルス情報および対策について下記のとおり取り纏めましたのでご案内申し上げます。

記

１．ウイルスの情報

（１）ウイルス名

VM Zeus[ブイエム ゼウス]

※セキュリティ会社により名称が異なる場合があります。

※VM Zeus は、多くの存在が確認されている Zeus ウイルスの亜種のひとつです。

（２）Zeus ウイルスとは

Zeus(Zbot[ゼッドボット]とも呼ばれる)は、ＩＢ利用者のパソコンに侵入し、ＩＢにログインする際に不正な画面を表示し、この画面に入力したＩＤ、パスワード等の情報を盗み取ります。感染経路としては、不正な Web サイトからのダウンロード（第三者に改ざんされたサイトでは、閲覧しただけで感染する。）やスパムメール、Facebook に張られたリンク等が考えられます。

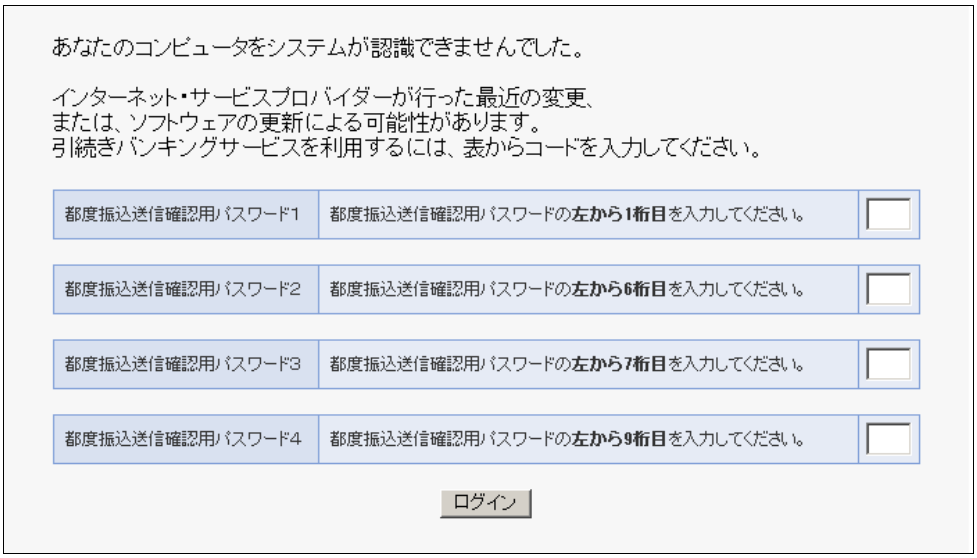
（３）今回確認された不正画面

ＩＢのログイン画面にてＩＤ、パスワードを入力し、ログインボタンを押下すると「あなたのコンピュータを認識できませんでした」の偽画面を表示しパスワードを詐取し、詐取したパスワードを用いて不正送金を行います。

なお、ログイン画面は、ＩＢシステムが送信した画面をウイルスが改ざんしたうえで表示され、ＩＤ、パスワードを入力するとＩＢシステム側に送られることはなく、搾取されます。

（個人ＩＢの偽画面）

（法人ＩＢの偽画面）



２．ラポート（Rapport）での検知

上記画面が表示されたＩＢ利用者にラポートをインストールしたところ、VM Zeus を検知のうえ駆除されることが、確認されています。（ウイルス検知サービスでは、検知できておりませんでした）

なお、ラポートにつきまして、すべての Zeus ウイルスの亜種*が検知可能かは、ウイルスの検体を確認しない限り確実なことは言えません。

＊亜種・・・既存のウイルスの一部を変更して作られたウイルス。一部を変更することでウイルス対策ソフトに見つからないようにする。

３．対策

VM Zeus の対策は以下のとおりです。

・電子証明書（法人ＩＢ）およびワンタイムパスワード（個人ＩＢ）の利用

・ラポート等のＩＢ専用セキュリティソフトの利用

以　上